

研究者 (1) 教養教育センター



心理学
准教授
たけざわ
竹澤 みどり
(1975生)
博士(心理学)
(筑波大学・平19)

■経歴

筑波大学第二学群人間学類卒(平11.3) / 筑波大学一貫制博士課程単位取得満期退学(平17.3) / 筑波大学人間総合科学研究科等支援室準研究員(平17.4～20.3) / 富山大学保健管理センター講師(平20.4～31.3) / 富山県立大学工学部准教授(平31.4～)

担当科目 コミュニケーション論Ⅰ / コミュニケーション論Ⅱ / コミュニケーション演習 / 生涯発達心理学 / 教養ゼミⅠ / 教養ゼミⅡ

専門分野 臨床心理学 / 健康心理学

論文・報告

「青年期における依存性の適応的観点からの検討」(学位論文)
「青年期後期における依存性の適応的観点からの検討」(教育心理学研究, 2004)
「依存欲求・行動表出スタイルの検討—自己価値観と対人関係性の観点から—」(健康心理学研究, 2007)
「在宅要介護高齢者とホーム・ヘルパー間の依存と自立の構造—修正版グランデッド・セオリー・アプローチを用いた分析から—」(ヒューマン・ケア研究, 2010)
「若年層を対象とした交際相手からの心理的暴力被害経験尺度の作成と性差の検討」(地域環境保健福祉研究, 2016)
「広場恐怖による不登校に対する認知行動療法的アプローチ—電子メールを用いて介入した事例—」(学生相談研究, 2016)
「IPV (Intimate Partner Violence) 関係継続・終結の意思決定に関する性差の検討—投資モデルの観点から—」(パーソナリティ研究, 2020)

所属学会 日本健康心理学会(平13.5～) / 日本心理学会(平13.11～) / 日本教育心理学会(平14.9～) / 日本認知・行動療法学会(平26.4～)

学会委員等 日本教育心理学会常任編集委員(平30.1～令2.12)

現在の研究課題

・交際相手への暴力の発生・維持過程に関する研究

明らかな暴力行為に至る以前のより深刻度の低い行為にも焦点を当てた縦断研究を行っている。特に、インターネット等の情報通信技術を用いた暴力行為、カップルの双方が暴力行為を行う双方向の暴力などに着目して研究を展開している。

共同研究キーワード

デートDV / 認知行動療法